

平成 28 年 3 月 31 日
大臣官房官庁営繕部

公共建築工事標準仕様書等を 3 年ぶりに改定

～より環境に配慮した仕様に見直し～

- 「公共建築工事標準仕様書」等については3 年毎に見直しを行っており、平成 28 年版を平成 28 年 3 月 31 日に、ホームページに掲載し、4 月より適用します。
- 同仕様書等は、公共建築工事において使用する材料、工法等について標準的な仕様を取りまとめたものであり、工事請負契約における契約図書のひとつとして使用されるものです。
- 同仕様書等の適用により、建築物の品質及び性能の確保、設計図書作成の効率化並びに施工の合理化を図ることを目的としています。

◎改定概要

1. 国としての施策への対応
2. 関係法令、各種基準及び規格類との整合
3. 技術革新への対応と施工実態の反映

◎主な改定内容

【建築工事編】

◆公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 平成 28 年版

◆公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 平成 28 年版

- ・ 唯一の鉛含有塗料である鉛酸カルシウムさび止めペイントを削除し、一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイントを規定することで、塗装工事において無鉛化を実施
- ・ 環境に配慮して、変性エポキシ樹脂プライマー等に、弱溶剤系を追加
- ・ 舗装工事について、構内舗装・排水設計基準の改定に伴う全面的な見直し

【木造工事編】

◆公共建築木造工事標準仕様書 平成 28 年版

- ・ 木材保存剤の加圧注入による保存処理について、インサイジングの特記を追加
- ・ 粘土瓦葺の棟の工法に、F 形用冠瓦を追加

【電気設備工事編】

◆公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 平成 28 年版

◆公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）平成 28 年版

- ・制御盤の電動機回路の器具容量について、トップランナーモータに対応した数値に見直し
- ・太陽光発電装置等を利用した蓄電システムの導入に対応するため、電力平準化蓄電装置等を追加

◆公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 平成 28 年版

- ・LED照明器具について、器種及び仕様を拡充
- ・プロジェクタ及びスクリーンについて、広角形を追加

【機械設備工事編】

◆公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） 平成 28 年版

◆公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成 28 年版

- ・環境に配慮し、木質バイオマス燃料を利用した暖房用・給湯用熱源機器を追加
- ・消防法の改正に伴い、消火栓の種別に広範囲型 2 号消火栓を追加
- ・LP ガス輸送の省力化等を考慮し、地上式バルク貯槽を追加

◆公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） 平成 28 年版

- ・屋内消火栓箱に広範囲型 2 号消火栓を追加
- ・地上式バルク貯槽（横型及び縦型）を追加

標準仕様書関連のアドレス

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html#2-5

※現在掲載している平成 25 年版も引き続き掲載します。

【工事費積算関連】

公共建築工事標準仕様書等の改定に伴い、公共建築工事標準単価積算基準も併せて見直し

工事費積算関連のアドレス

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html#2-6

【問い合わせ先】国土交通省大臣官房官庁営繕部 TEL:03-5253-8111

【建築工事編】整備課 橋（内線 23-463）、桑原（内線 23-464）

【木造工事編】整備課 目黒（内線 23-443）、小林（内線 23-475）

【電気設備工事編】設備・環境課 和知（内線 23-752）、中幡（内線 23-744）

【機械設備工事編】設備・環境課 村山（内線 23-743）、斉藤（内線 23-746）

【工事費積算関連】計画課 田中（内線 23-243）、鈴木（内線 23-246）